

ニイザ
213ささえあい隊NEWS

第4号発行：平成30年10月

★第2回生活支援体制整備事業勉強会の報告★

第1回生活支援体制整備事業勉強会(以下、勉強会)では、市内6圏域共通した内容で実施しましたが、第2回勉強会は各圏域それぞれ異なった内容で実施しています。

7月20日(金)北部第二圏域、7月23日(月)西部圏域、7月30日(月)東部第二圏域、7月30日(火)東部第一圏域で行われた第2回勉強会について、各担当から報告いたします。

北部第二圏域 第2回勉強会

7月20日(金) 14:00～ 大和田公民館



今回の勉強会では、はじめに第1回目の勉強会の内容であった「協議体について」を振り返りました。その後みなさまからの疑問にお答えするため、質疑応答の時間としました。

みなさまからは、地域福祉推進協議会(福推協)と協議体の関係について多くのご質問をいただき、福祉政策課より、福進協と協議体の現状について、図を用いて説明させていただきました。数多くのご質問の中で「第二層協議体」の考え方が分からないというものがあり、新座市の福祉圏域の説明や、市全体について検討していく「第一層協議体」との関係性についても改めてご説明をさせていただきました。また、地域に多く存在している住民による活動と協議体との関係について知りたいとのご意見もありましたので、こちらのご意見については、住民の自主グループを第3層の協議体としていくこともありえるという説明をさせていただきました。

質疑応答終了後には、第1回目の勉強会で意見があがっていた、「空き家対策・活用方法」についての考えをグループワークで話し合いました。

- 空き家は地域にどれくらいあるのかなどの情報が欲しい。
- 空き家に対する良いイメージがない。
- 空き家に学生や若い世代の人が住めるような環境を作ることや(DIYなど)、若者の居住支援となるような仕組みづくりなどをすべきではないか。
- 若者がそうした空き家に住むようになれば、地域がもっと活性化するのではないか。

といった意見がだされました。

参加されたみなさまからは、全部ではないが、おおむね協議体についての理解ができたというご意見をいただきました。第3回目の勉強会の内容については、別途通知でお知らせすることとしております。

西部圏域 第2回勉強会

7月23日(月) 9:30～ 社協大会議室



初参加の方を含めて8名の住民の方にご参加いただきました。

第1回目の振り返りとコーディネーターの役割や「めざす地域福祉の未来像とは」というテーマについて西部圏域担当のコーディネーターよりさせていただきました。その後、参加者のみなさまより社会福祉協議会が事務局として運営をしている「地域福祉推進協議会(福進協)」と協議体の違いに関するご質問をいただいたため、法律的な位置づけや役割など両者の違いについて福祉政策課より伝えさせていただきました。

また、質疑応答の際には、協議体でどのようなことを話し合うのかについて、市やコーディネーターに先導をしてほしいというご意見や、行政が住民に対して何を期待しているのかを教えてほしいというご意見もいただきました。第3回目勉強会では上記のご質問等を踏まえ協議をしていく予定としています。

東部第二圏域 第2回勉強会

7月30日(月) 10:00～

畑中公民館



初参加の方を含め17名のみなさんにご参加いただきました。

東部第二圏域担当コーディネーターから協議体についての説明の前に、まず参加されたみなさんと一緒に、緊張をほぐすためクイズゲームを行いました。3人1組となり「高齢者の生活」についての調査結果で、「高齢者が生活のなかで困っていること」で回答が多かった、上位3位までの項目を当てていただきました。全問正解のチームもあり、みなさまの地域に対する意識の高さを感じたゲームでした。

ゲーム後に、コーディネーターより第1回目勉強会での内容を伝えさせていただきました。また、他市でも生活支援体制整備事業や協議体を推進しており、近隣自治体である板橋区の取組みを参考事例として伝えさせていただきました。

今回は自己紹介の際に「どのような思いで勉強会に参加しているか」をみなさんに話していただきました。また「東部第2圏域として、どのような協議体にしていきたいか」について、グループワークのなかで話し合ってくださいました。グループワークでは、「集いの場があってもそこへ出て来られない人がいる」というご意見があがり、「集いの場を増やしたい」といった地域の課題に対する活発な議論となりました。

次回第3回目勉強会では、今回の続きとして「集いの場について」「(地域の集いの場等に)出て来られない人をどうするのか」をテーマにグループワークを行う予定としております。

東部第一圏域 第2回勉強会

7月31日(火) 10:00～ 中央公民館



初参加の方を含め6名の方にご参加いただきました。

まずは、参加されたみなさんと一緒に緊張をほぐすためクイズゲームを行いました。回答を発表した際には、みなさんの予想とは少し違う結果になり、驚かれた方もいました。

クイズゲーム後に第1回勉強会の振り返りを東部第一圏域担当コーディネーターからさせていただき、その後近隣自治体である板橋区の実例を事例として紹介させていただきました。

今回は参加されたみなさまに「協議体で話し合いたいこと」についてご意見をいただきました。下記にご意見の一部を紹介いたします。

- 高齢者の健康問題
- 地域のボランティア、担い手の育成
- 障がいを持つ方でもいきいきと暮らせる地域にしていくにはどうするか
- 既存の組織と連携して活動できる方法は何か
- それぞれの地域に合わせて、緩やかに継続して活動する方法について

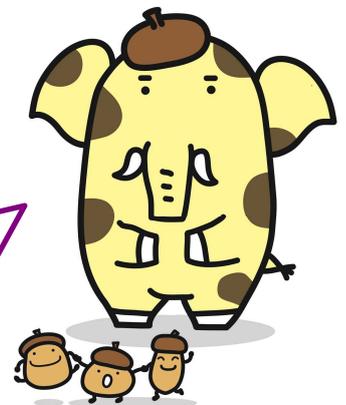
これらのご意見を受け、第3回目勉強会では、まずは地域に住む自分たちだからこそ知っている「地域の資源」について、みんなで共有してみようということになりました。白地図を利用して地域の資源マップを作る予定としています。

今回は4圏域で行われた第2回勉強会についてまとめさせていただきました。

第5号では、8月に行われた「生活支援体制整備事業・協議体勉強会」の第3回目について取り上げます。

概ね3回程度を予定しております勉強会も、2回目を終え、少しずつ各圏域の特色が出ていているように感じています。

コーディネーターとしても、毎回ご参加いただいているみなさまから様々なことを学んでおります。みなさまと一緒に協議体について学びを深め、地域の支え合いの仕組みづくりに向けて取り組んでいきたいと思っています。



問合せ

新座市役所 本庁舎2階 福祉政策課 生活支援コーディネーター
TEL:048-424-4693 FAX:048-482-5221